

事業番号	05 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	母子保健対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課				
		実施期間	S40 ~	E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑦健康寿命								
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援	4-3 医療・介護提供体制の充実			5-4 若者のライフデザインの希望実現				

1 現状と課題

平成27年度に信州母子保健推進センターを県庁内に設置し、市町村や専門機関と連携・協働して、母子保健を推進。また、小児在宅医療の推進に向けた多職種連携や周産期医療における救急、及び災害時の対策を推進し、安心・安全で持続可能な医療提供体制の確保を図っている。

2 事業目的

県内のどこに居住していても質の高い母子保健サービスや小児医療・周産期医療の提供を受けることができるよう、市町村や専門機関との連携・協働による妊娠・出産から子育てまで一貫した支援体制の構築を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①信州母子保健推進センターによる母子保健サービスの均てん化
 - ・課題の把握及び方針の検討のため、乳幼児健康診査に関する基礎研修会、信州大学等との協同による専門研修会
 - ・保健師等の資質向上のため、市町村母子保健事業、困難事例への助言
 - ・「信州母子保健推進センターだより」による市町村への情報発信
- ②小児周産期医療提供体制の整備
 - ・患児を抱える保護者に安心感を与えとともに、小児科医及び救急医の負担軽減のため小児初期救急電話相談（#8000）の実施
 - ・周産期の医療提供体制を整備するため、周産期母子医療センター運営事業の実施
- ③不妊・不育症に悩む方への支援
 - ・子どもを持ちたい希望を叶えるため、不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施
 - ・治療が必要な患者の経済的負担を軽減するため、不育症治療支援事業の実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	3歳児健診等で屈折検査（視力検査）を実施する市町村数	数	—	57		62	↗	62以上	達成	矯正不能な弱視の未然防止につながる屈折検査を導入している市町村数を増やすため	
②	小児救急電話相談（#8000）の対応に納得した割合	%	98.9	98.9	→	99.9	↗	98以上	達成	夜間の病気等に関する電話相談を適切に実施し、不安を抱える保護者に安心感を与えられたかを評価するため	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	1,105,767	19,268	1,125,035	484,510	1,081,741	20.5
R3年度	0	1,583,473	380,093	1,963,566	767,743	1,432,627	21.5
R2年度	0	1,236,619	613,228	1,849,847	563,092	1,611,424	21.5

事業番号	05 07 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	母子保健対策推進事業		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課	

6 主な取組実績と成果

信州母子保健推進センターによる母子保健サービスの均てん化

- ・乳幼児健康診査に関する基礎研修会、信州大学等との協同による専門研修会を開催し、計5回 625人が参加。
- ・保健師等の資質向上のため、市町村母子保健事業、困難事例への助言を44市町村に実施。また、支援後も体制を維持できるよう相談等フォローアップも実施している。
- ・「信州母子保健推進センターだより」による市町村への情報発信を11回実施。

小児周産期医療提供体制の整備

- ・患児を抱える保護者に安心感を与えるとともに、小児科医及び救急医の負担軽減のため小児初期救急電話相談（#8000）の実施。関係機関へのチラシによる周知、回線数を増やしたことにより相談件数は10,634件と前年度から約2,000件増えた。
- ・周産期の医療提供体制を整備するため、周産期母子医療センター運営事業の実施

不妊・不育症に悩む方への支援

- ・子どもを持ちたい希望を叶えるため、不妊に悩む方への特定治療支援事業を実施し、385件助成。また、不妊治療の保険適用に伴い特定治療支援事業が終了したため、県独自で不妊治療（先進医療）費用助成事業を実施し、197件助成した。
- ・治療が必要な患者の経済的負担を軽減するため、不育症治療支援事業の実施し、38件助成。
- ・必要な方が事業を知り、活用できるよう、チラシやホームページ掲載等による周知の工夫を行っている。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	3歳児健診等で屈折検査（視力検査）を実施する市町村数	R3年度推移	R4年度推移	↗	達成状況	達成
屈折検査（視力検査）に関する情報提供や必要性の周知随時行うとともに、視覚に関する市町村向け研修会を行い、啓発に努めたことで目標を達成した。						
指標②	小児救急電話相談（#8000）の対応に納得した割合	R3年度推移	R4年度推移	→	達成状況	達成
受託事業者との連携を密に行い、電話相談時の対応方法などを確認したことにより、目標値を達成した。						

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・信州母子保健推進センターについて、市町村や保健福祉事務所等との連携の中で地域の課題把握に努めるとともに、国の施策の動向を注視し、それらニーズに沿った支援内容の工夫が必要。
- ・小児救急医療電話相談事業（#8000）については、納得した割合が目標値を達成したが、相談件数が多い19時から23時の間は電話相談が多くながりにくい場合もあり、回線数を増やした。適正な回線数を把握することが今後の課題。また、電話相談の受付時間（19時～翌8時）についても検討が必要。
- ・不妊・不育症等に悩む方への支援について、必要な方が不妊治療費用助成事業を知り、活用できるよう啓発していくことが必要。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・信州母子保健推進センターについては、国の動向や地域ニーズに応じた研修を企画するとともに、母子保健推進員の支援によって地域の状況等を確認していく。
- ・小児救急医療電話相談事業（#8000）については、他県の状況を踏まえ電話相談の受付時間の見直しを検討する。
- ・チラシやホームページ等の内容を工夫し、住民や支援者への周知を行っていく。

事業番号	05 07 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	母子保健対策推進事業		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	信州母子保健推進センター事業		2,449 千円	2,055 千円	1,598 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州母子保健推進センター事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健推進連絡会の実施、母子保健推進会議の開催 ・母子保健推進員による市町村母子保健支援 連絡会の開催1回、推進会議の開催8 保健所25回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	母子保健推進事業		3,158 千円	9,839 千円	8,570 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	女性の健康ライフ支援事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊・不育症相談情報交換会の開催及び情報提供リーフレットの作成 ・「不妊・不育専門相談センター」の実施【委託先：県看護協会】 情報交換会開催回数 1回、相談センター相談件数 354件		
2	妊娠・出産相談支援事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠～子育てほっとライン信州（電話相談）の実施 【委託先：長野県助産師会】 電話相談件数 306件		
3	思春期保健事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期クリニック（思春期の悩み等に対する相談）の実施 ・思春期ピアカウンセラーの養成及び活動支援 相談件数 83件		
4	旧優生保護法一時金支給事務	直接	優生手術を受けた者に対する一時金支給事務 一時金に対する相談件数 6件		
5	新型コロナウイルス流行下妊産婦総合対策事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査の実施 【委託先：県内の分娩取扱い医療機関、外来・検査センター、外部検査機関】 検査件数 193件		
6	妊婦訪問支援事業	補助金	妊婦検診未受診等の妊婦の過程を訪問し、継続的に妊婦を支援 1市町村		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	周産期医療対策事業		111,836 千円	122,080 千円	110,302 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	周産期医療対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・母体・新生児搬送状況等調査 ・周産期医療連絡調整協議会の開催 周産期医療連絡調整協議会の開催回数 1回		
2	周産期母子医療センター 運営事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期母子医療センター運営費補助 補助施設数 10施設		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	小児医療対策事業		99,894 千円	95,280 千円	90,600 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	小児救急電話相談 （#8000）	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・小児患者の保護者に対する電話相談事業（#8000）の実施 相談件数 10,634件		
2	小児初期救急医療体制 整備事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・小児初期救急を行う施設への運営費補助 補助施設数 10施設		
3	小児救命救急センター 運営事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・重篤な小児救急患者への医療を行う小児救命救急センターへの運営費補助 補助施設数 1件		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	心身障害発生予防事業		48,810 千円	50,278 千円	46,860 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	先天性代謝異常等 検査事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・マス・スクリーニング連絡協議会の開催 ・先天性代謝異常等検査の実施【委託先：県立こども病院】 協議会の開催回数 1回、検査件数 13,485件		
2	難聴児支援センター事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴児療育支援員による巡回相談（保育園、学校等） ・難聴児支援センターの設置【委託先：信州大学医学部】 相談件数 のべ1,930件		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	母子医療給付事業	1,336,051 千円	1,129,470 千円	821,977 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	・未熟児養育医療費等 給付事業 ・小児慢性特定疾病	補助金 負担金 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟児養育医療費の助成 ・小児慢性特定疾病に係る医療費の助成 ・移行期医療支援センターの設置【委託先：信州大学医学部】 養育医療費助成市町村数 48市町村	
2	・妊娠前からの健康管理 （プレコンセプションケア）支援事業 ・不妊治療（先進医療）費用 助成事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊に関する検査費用の助成 ・Webサイト「妊活ながの」による妊娠・出産に関する情報の発信 ・不妊治療（先進医療）に要する費用の一部助成 不妊に関する検査費用助成件数 224件	
3	・不育症治療支援事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・不育症に係る治療費の助成 助成件数 38件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	健康センター運営事業	9,226 千円	23,625 千円	1,834 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	・旧伊那総合健康センター 改修工事 ・旧伊那総合健康センター 土地賃借料	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・自動扉改修工事 ・旧伊那総合健康センター敷地の一部借上（所有者：伊那市） 入札不落により改修工事未実施	